

NEWS

第7期生 「地域エンパワねっとI」 報告会を開催します STEP 2 見つける

2014年度 地域エンパワねっと I 報告会のご案内



↑授業で学生たちが発表する様子

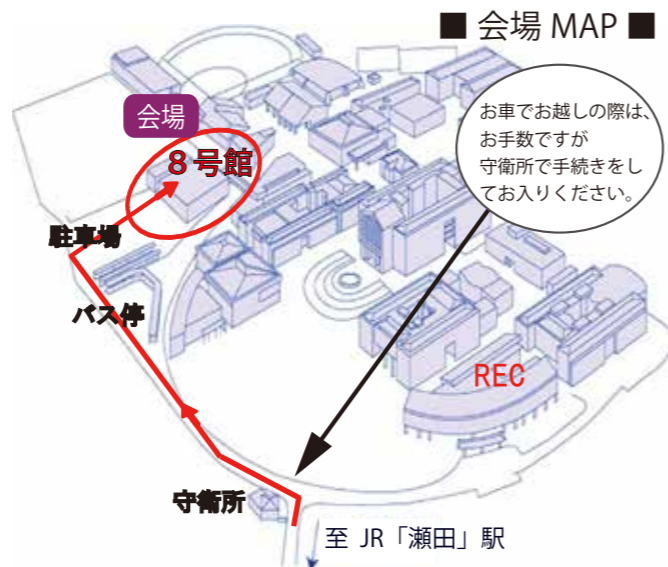
2014年9月末より、エンパワねっと7期生が瀬田東学区および中央地区の地域住民・関係者のご協力のもと「地域エンパワねっとI」に取り組んでまいりました。今回の報告会では、学生が各地区で発見した地域の魅力や課題などについて発表させていただきます。またそれに対して皆さまからコメントや助言をいただき、さらに考察を深め、「地域エンパワねっとII」でより現実に即した解決のための活動に取り組みたいと思っております。「学生力」と「地域力」を相互に高めあう機会になりますよう、多くのご参加をお待ちしております。

【日時】
2015年1月18日(日) 9:30～12:00
(受付/9:20～)

【会場】
龍谷大学 瀬田キャンパス 8号館 103教室

【プログラム】(予定)
・学生による活動発表 ・ポスターセッション ・全体講評

<参加費> 無料
<対象> まちづくりに関心のある方や学生



学生たちの取り組み

チームNo.、チーム名、取り組んでいるテーマを掲載しています。

C01 おでん
マンション住民と地元民を繋ぐ

C02 まりも
商店街に愛着を

C03 A エース
商店街で子どもたちの思い出を作ろう!!

C04 むりえ
青年層の新たな繋がり場を作る

C05 みんな
子どもと大人でつくる未来の大津
～地域の大人と関わりの少ない若い世代が
地域活動に参加するきっかけづくり～

S01 COCO
NO MORE 自転車泥棒!

S02 HOTARU
子どもたちに地元へ愛着を持ってもらおう!
～遊びを通して自然と触れ合う～

S03 You Do Who 滝豆腐
子どもたちに地元の野菜を知ってもらおう!

S04 FOUR
子育て世代のつながり

S05 おれんじ
子どもの防犯意識を高めよう!

TOPICS

2014年度 大学と地域をつなぐ特別講義II(新カリキュラム) 報告

STEP 1 知る

第1回

2014.10.20
地域・臨床
福祉学科

大津市における地域課題
～地域福祉の現場から～



大津市社会福祉協議会
主査 井ノ口浩士さん
主事 奥村寛之さん

大津市社会福祉協議会の井ノ口浩士さんと奥村寛之さんから、「大津市における地域課題—地域福祉の現場から」と題してお話をいただきました。「ゴミ屋敷」や「ネコ屋敷」、精神障がいや知的障がいを抱えながら必死で生きている人々の暮らしの問題をお聞きすることを通して、大津で起きていることは皆さんの身近でも起きている、それは全国で起きている問題だということを感じることができたと思います。また、個人個人の暮らしの問題を解決するプロセスそのものがまちづくりの土壌をつくりあげているのだということも理解できました。今日のお話は、自分の住んでいる地域や大学のある大津市の地域課題に関心を持つきっかけになったと思います。

第2回

2014.10.23
地域・臨床
福祉学科

相談からみる
大津市の障がい児・者の暮らし



知的障害児者地域生活支援センター
相談員 越野 緑さん

講師は、大津市立やまびこ総合支援センターの相談員である越野緑さんで、まず、障がいは個人に起因するものではなく、環境がつくるものであること、環境が変われば障がいは障がいではなくなることもあるということ、事例をもとにお話していただきました。そして、日頃の相談支援活動からみえてくる、大津という環境のなかでの、障がいをかかえる人たちのしんどさ、たいへんさを具体的にお話していただきました。

さらに、自閉症の人たちの物の見え方がわかるように、ペットボトルをのぞいて見るなどの疑似体験は、障がいをかかえる人たちに、自らの問題として考えることができる機会になりました。

第3回

2014.10.27
CM学科

音楽でつながる
地域と人



大津ジャズフェスティバル
副実行委員長
神之口 令子さん

第6回大津ジャズフェスティバル(10月18・19日)副実行委員長の神之口令子さんに、人と人のつながりの大切さや、大津への愛着について話してもらいました。神之口さんは大津で生まれ育ち、ジャズパー「バーンの笛」を営んでいます。その店は、かつて大津の若者たちが集った同名のジャズ喫茶の精神を継承しているといえます。

講義では、ジャズ喫茶を拠点に若者が作ったタウン誌「水の国」や幼いころの白黒写真を見せながら、ご自身の体験を通して大津の変化を振り返っていただきました。さらに講演終盤では、ジャズフェスを続けてきた原動力は「なにが面白いことをやろうよ」という精神であったと述べ、学生を触発していただきました。

第4回

2014.10.28
社会学科

街の記憶を保存すること



大津市歴史博物館
学芸員
木津 勝さん

講義のなかで、木津勝先生は、ご自身が手がけられた博物館の企画展等の事例を通して「街の記憶を保存すること」の意味や価値を具体的に説明していただきました。事例のなかで示された「街の記憶」は、歴史の教科書のような本の中で語られることはありません。小さな断片的なエピソードばかりです。

しかし、街に暮らす人びとにとっては、それらはとても大切なものなのです。博物館の企画展で展示された写真や動画を通して、多くの人びとの内に眠っている小さな「記憶」が引き出され、少しずつ「つながり」ながら、結果として「みんなの『街の記憶を保存すること』」につながっていくのです。

エンパワ修了生の先輩のなかには、このような「街の記憶」に関連して活動した人たちがいます。皆さんも、「地域エンパワねっと」のなかで、ぜひこのようなテーマに取り組んでみてください。

- ⑩ 3 (水) : 大津エンパワねっとを進める会 (中央地区)
- ⑪ 12 (金) : 「2014年度 地域エンパワねっとI」(7期生) 全体講義
- ⑫ 16 (火) : 大津エンパワねっとを進める会 (瀬田東学区)
- ⑬ 24 (水) : 大津エンパワねっと運営委員会 (学内)
- ⑭ 25 (木) ~ 1/5 (月) : 大津エンパワねっとオフィス 冬期閉室期間

スケジュール・お知らせ

- ① 9 (金) : 「2014年度 地域エンパワねっとI」(7期生) 全体講義
- ② 18 (日) : 「2014年度 地域エンパワねっとI」(7期生) 報告会 (学内)
- ③ 28 (水) : 大津エンパワねっと運営委員会 (学内)

12.1